

# C

## モノ：防災拠点資器材操作マニュアル

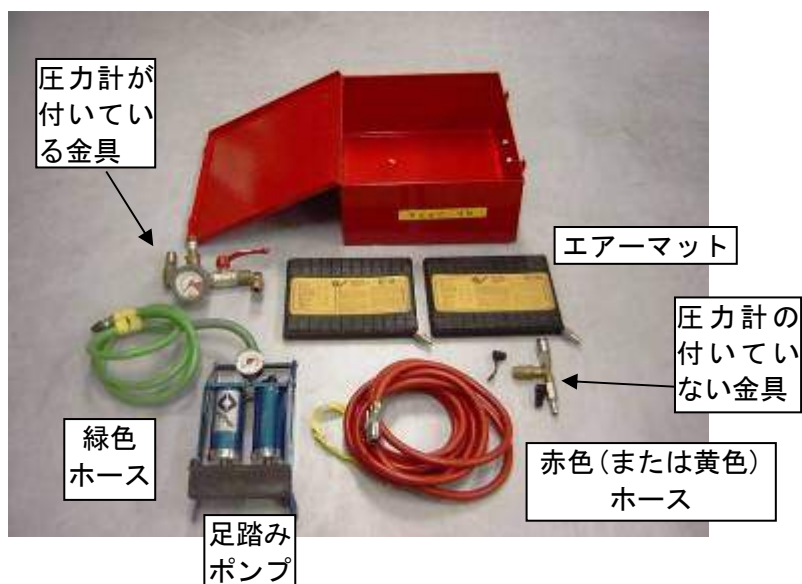




## 1. 【救出するーエアージャッキ】

### 【エアージャッキ】

- 正式名称 スーパーミニマイティバッグセット
- 使用目的 倒壊建物の下敷きになった人を救出するために使用する。
- 特 徴
- 1 特殊ゴム製のエアーマットに空気を注入することで約3トンの重さの物を最大約12cm持ち上げることができる（6トン用のエアーマットが備蓄されている拠点もある）。
  - 2 エアーマットを2枚まで重ねることができる。
  - 3 普通のジャッキと違い、すき間が少なく土台の不安定な場所でも使用できる。

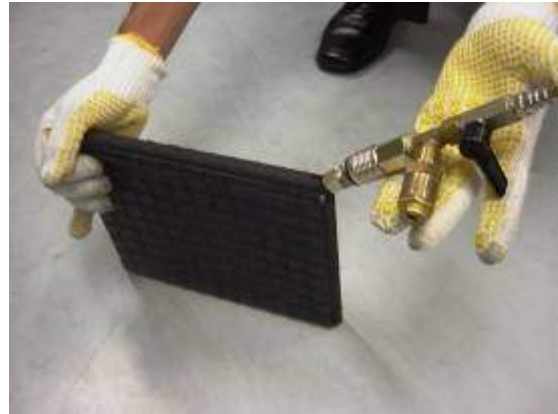


### エアージャッキ操作手順

- 1 圧力計が付いている金具に、足踏みポンプの緑色のホースと赤色のホースをつなげる。
- 2 赤色のホースと圧力計の付いていない金具をつなげる。



- 3 圧力計の付いていない金具とエアーマットをつなげる。



- 4 接続した2種類の金具の開閉弁を金具に水平に合わせる。



- 5 足踏みポンプを踏んで空気を送る。



- 6 エアーマットを2枚使用する場合は、圧力計の付いていない金具の開閉弁を金具に垂直に合わせ、空気を止めエアーマットを外してから次のマットに赤色（または、黄色）のホースをつなげる。



- 7 空気を抜く場合は、圧力計の付いていない金具の開閉弁を金具に水平に合わせるか、圧力計の付いている金具の空気排出バルブ（圧力計の上に付いている棒みたいなもの）のネジを左に回す。



## 接続金具のはずし方

- 1 ホースの接続部分を矢印の方向へ押す。



- 2 1の押した状態のまま上記のロックカバーを左側に移動させる。



ロックカバー

# 1. 【救出するーエアージャッキ】

## エアージャッキについての注意事項

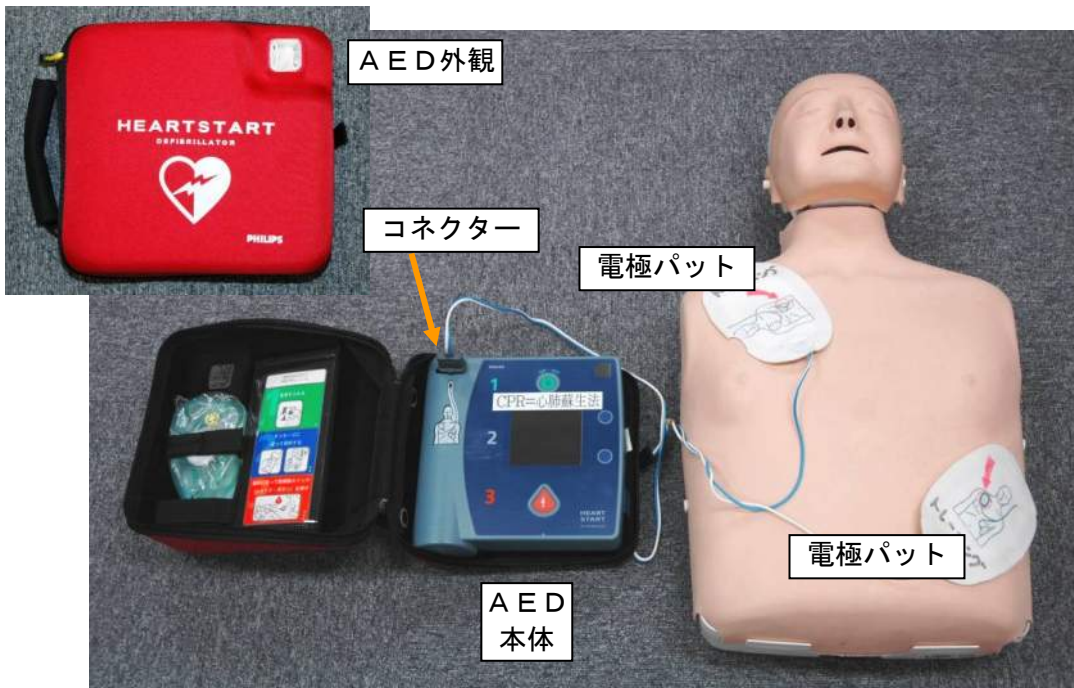
---

- 1 エアーマットから空気を抜くときは、必ず空気排出バルブか開閉弁を使って空気を抜いてください。
- 2 エアーマット使用中は、できるだけ近寄らないでください。
- 3 エアーマットを重ねて使用する場合は、2枚までで使用し、下のエアーマットから膨らませてください。絶対に3枚以上重ねて使用しないでください。
- 4 エアーマットを折り曲げて使用することはできません。
- 5 周囲温度80℃までの場所で使用してください。
- 6 薬品及び特殊ガス等の影響がある場所では使用しないでください。
- 7 空気排出バルブ、足踏みポンプ、開閉弁には、振動等のショックを与えないでください。

## 2. 【救護するー A E D（自動体外式除細動器）】

### 【A E D（自動体外式除細動器）】

正式名称	A E D（自動体外式除細動器）
使用目的	突然心臓機能が停止した方に多く見られる心臓の痙攣(けいれん)状態（心室細動）を取り除くために有効な電気ショックを与え、心臓を正常な状態に戻す。
特 徴	1 A E D の操作は簡単で、電源を入れると音声メッセージで操作を誘導し、A E D が電気ショックを必要と判断した場合のみ、音声指示に従ってショックボタンを押す。 2 心臓が正常に動いている人には、電気ショックを与えないようになっている。



※区内の公共施設に設置してある A E D（自動体外式除細動器）は、右写真のようなケースに収められています。

可搬ケースは、赤色と黄色のものが  
あります。



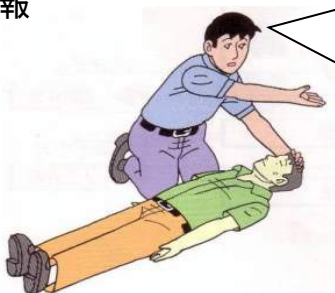
## AEDを用いた救命手当

- 1 肩をたたきながら呼びかけ、反応の確認をする。



わかりますか？

- 2 大声で助けを求め、119番通報とAED搬送を依頼する。



●誰か来てください！  
人が倒れています。  
●あなた119番通報してください。  
●あなたはAEDを持ってきてください！

- 3 胸と腹部が動いているかを目で確認し、10秒以内で呼吸を確認する。

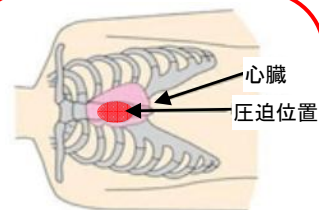
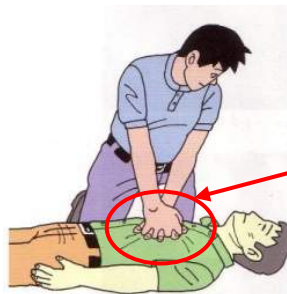


1、2、3...10  
普段どおりの呼吸なし。

目で見て、「普段どおりの呼吸」をしているかを10秒以内で確認します。

- 4 普段どおりの呼吸がなければ、すぐに胸骨圧迫30回実施する。

位置：胸の真ん中  
速さ：少なくとも100回  
深さ：少なくとも5cm



胸骨圧迫は胸の真ん中

- 5 気道確保と人工呼吸2回を実施。以後は胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を繰り返す。

※早く・強く・絶え間なく行う。  
圧迫解除は胸がしっかり戻るまで！  
※胸骨圧迫の強さや圧迫位置についてはC-8「年齢区別にみた心肺蘇生」を参考のこと。



1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を2回吹き込みます。



## AEDが到着したら

- 6 器械の入っているケースのふたを開け、電源を入れるスイッチを押す。

※ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。



- 7 音声ガイドに従い、2枚の電極パッドを患者の胸に貼り、コネクターを本体に差し込む。パッドの貼る位置は、本体やパッドに表示してある。

※体が汗などで濡れていたらタオルで拭き取ってください。

※小児には、小児用パッドを貼ります。小児用パッドがなければ、やむを得ず成人用パッドを代用します。  
(小児用パッドを貼る対象はおおよそ6歳くらいまで。乳児に対してもAEDは使用できます。)



8 電気ショックが必要かどうかを A E D が判断するまで待機する。

※心電図解析中は誰も傷病者に触れてはいけません。



9 誰も傷病者に触れていないことを確認し、除細動スイッチを押す。



以後は、A E D の音声メッセージに従います。

心肺蘇生と A E D の手順は、救急隊に引継ぐか、何らかの応答や目的のある仕草（例えば、嫌がるなどの体動）が出現したり、普段どおりの息が出現するまで続けます。

●参考：年齢区分別にみた心肺蘇生

対象	心肺蘇生 胸骨圧迫 ：人工呼吸	人工呼吸			胸骨圧迫			
		送気量	送気時間	送気回数	圧迫位置	圧迫法	圧迫の強さ	テンポ
成人 (8歳以上)	30回：2回	胸の上がりが見える程度の量	約1秒	2回	胸骨の下半分	両手	4～5 cm	約100回/分
両手または片手						胸の厚みの1/3まで圧迫		
乳児 (1歳未満)					両乳頭を結ぶ線より足側	2指		

### 3.【電源を確保する一発電機】

#### 【発電機】

正式名称  
使用目的

ポータブル発電機  
災害時にバーナや投光器を使用するために発電する。  
燃料（ガソリン）を満タン（7リットル）にすると、7時間連続で使用可能

特 徴



↑ 倉庫に収められている発電機と燃料

#### 《発電機の使い方》

◆各部の名称



### 3. 【電源を確保する一発電機】

#### 発電機操作手順（かけ方）

- 1 燃料計を確認し、必要があれば給油する。



燃料計

燃料給油  
キャップ



- 2 燃料コックを『出』の方へ 90 度回転させる。



- 3 エンジンスイッチを“運転”に合わせる。



- 4 エンジン冷間時はチョークレバーを“始動”の位置に合わせる。



- 5 始動グリップを引き重くなったところから勢いよく引く。



- 6 エンジン暖機後、チョークレバーを“運転”の位置に合わせる。



## 発電機操作手順（とめ方）

エンジンスイッチを“停止”に合わせる。





## 4. 【電源を確保するーガスパワー発電機「エネポ」】

### 【発電機】

正式名称  
使用目的

ガスパワー発電機「エネポ」  
災害時にバーナーや投光器  
を使用するための電力を確保  
する。

特 徴

カセットガスボンベによる  
発電が可能。持ち運びもし  
やすい。

連続運転

最大約2. 2時間



↑ 防災拠点倉庫に収められている発電機と燃料

### 《発電機の使い方》

◆各部の名称

側面

上面



操作レバー



エンジン  
スイッチ

LED点灯  
システム

始動レバー



カセットボンベ  
設置位置

正面



背面

## 4. 【電源を確保するーガスパワー発電機「エネポ」】

### 発電機操作手順（かけ方）

#### 1 カセットボンベを取付ける。

- ①ボンベカバーを開け、操作レバーが“解除”位置にあることを確認する。操作レバーが“解除”位置までしっかり戻っていないとカセットボンベを正しくセットできないおそれがある。

※内部、口金部にゴミ・異物がないことを確認する。



- ②カセットボンベ付属のキャップを外し、カセットボンベの先端の切り込み、または赤いラインを下側にし、先端から奥に差し込む。同様の手順で2本目もセットする。

※カセットボンベは必ず2本セットして使用すること。



- ③カセットボンベが連続して回転しないことを確認し、操作レバーを“解除”から“固定”にスライドさせる。操作レバーが動かない場合はカセットボンベを正しくセットし直す。  
操作レバーから手を離しても“固定”の位置から戻らないことを確認する。

- ④ボンベカバーを閉じる。



- 2 エンジンスイッチを“運転”の位置に合わせる。



- 3 本機のボンベカバー部を押さえ、本機を固定する。始動グリップを引き重くなったところから勢いよく、図の矢印方向にグリップを引く。始動グリップは手を添えてゆっくりともとに戻す。

※始動グリップを引くときはリアハンドルを押さえないこと。本機が転倒し、事故を引き起こすおそれがある。



●取扱いのポイント

- ・ 始動グリップは必ず指定の方向へ引くこと。無理な方向への操作はロープの寿命を著しく縮める。
- ・ 始動グリップは勢いよく引くこと。回転が遅いとエンジンがかからないことがある。
- ・ 運転中は、エンジンに悪影響を与えることがあるため、始動グリップを引かないこと。

- 4 約1分間暖機運転を行う。

●取扱いのポイント

- ・ 始動直後のエンジン停止を繰り返し行わないこと。エンジンの始動不良など、不具合の原因になる。
- ・ 非常用電源などの用途で常時使用しない場合、暖機運転後に照明器具などを使用して10分以上の試運転を行うこと。

## 発電機操作手順（とめ方）

---

- 1 エンジンスイッチを“停止”に合わせる。

## 使用上特に注意する事項

---

### 警告

- 排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。屋内では絶対に使用しないでください。屋外でも、換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒を引き起こすおそれがあります。
- 雨の中や水のかかる場所では使用しないでください。  
雨や水で濡れた発電機や接続の電気機器を使用したり、また濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。
- 電力会社からの電気配線には絶対接続しないでください。  
本機や接続の電気機器を故障させたり、火災あるいは人身事故の原因になります。
- 並列運転端子には専用コード以外は絶対に接続しないでください。  
感電するおそれがあります。
- 使用時は、建物その他から1 m以上離してください。また、本体のマフラーなどが非常に熱くなっていますので、触れたり物をのせないでください。

## 5. 【照明を確保するーバルーン投光器】

### 【バルーン投光器】

- 使用目的 災害時における照明を確保する。
- 特 徴
- 1 バルーンによって光源が大きくなるため、非常に明るい直視しても眩しくない。また、全方向をまんべんなく照らすことができる。
  - 2 全高は約1.8m～約3.0mの間で調節可能及び400Wメタルハライドランプを使用している。



### バルーン投光器組立手順

- 1 本体と三脚部分を用意する。



本体部分



三脚部分

- 2 本体を準備する

- ①カバー横のチャックを開ける
- ②裏返しにカバーを取る（本体からカバーは外れません）。



③カバーをたたみ、本体とくっついている部分にチャックで収納する。



3 三脚を準備する。

① カバー横のチャックを開け、三脚を取り出す。



② 三脚の足を束ねているベルトを外す。



③ 三脚の足を出し立てる。



④ ロックをかける。(2段階あり)



4 三脚に本体を乗せ、落ちないようにネジを締める。



5 本体カバー内側ポケットの中に入っているケーブルと本体から出ているケーブルを接続する。

※接続後、コネクター部分のネジを締める。



6 電源にコンセントを差し込む。

7 本体の下にあるスイッチを入れる。



- 8 スイッチを入れるとバルーンが膨らみ始める。明るくなるには少々時間がかかる。

※電源を切った後、すぐ再点灯する際は元の明るさに戻るまで、3分から5分かかります。



## バルーン投光器の片付け手順

---

- 1 本体のスイッチを切る。
- 2 コンセントからプラグを抜く。
- 3 本体から出ているプラグとケーブルのプラグを取り外す。

使用後はランプが熱くなっているため、温度が低くなってから作業を行う。

- 4 本体部分と三脚を取り外す。
- 5 専用カバーに収納する。

## 6. 【飲料水を確保するー受水槽】

### 【受水槽（水道緊急遮断弁つき）】

- 使用目的 災害時に、受水槽に設置された蛇口から直接飲料水を確保する。
- 特 徴 1 緊急遮断弁が設置されているため、万一配管系の損傷を受けても水槽内の水はそのまま使用できる。  
2 地震を感知して自動的に出水口を遮断するため、発災後もすぐに水を使うことが可能。
- そ の 他 学校等に配備した受水槽は、災害時の飲料水の確保を目的として排水口が取り付けられている。

※受水槽を使用する際は、施設管理者と協議を行う。

※受水槽の鍵は1階防災センターに保管されている。



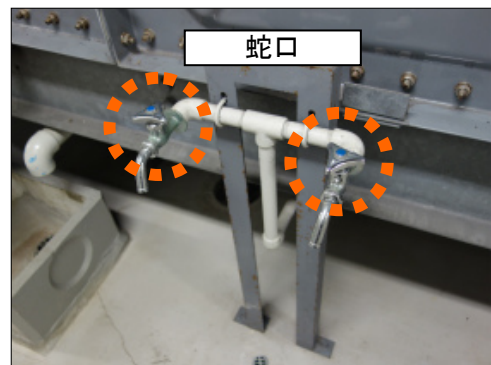
防災センターの鍵束



受水槽

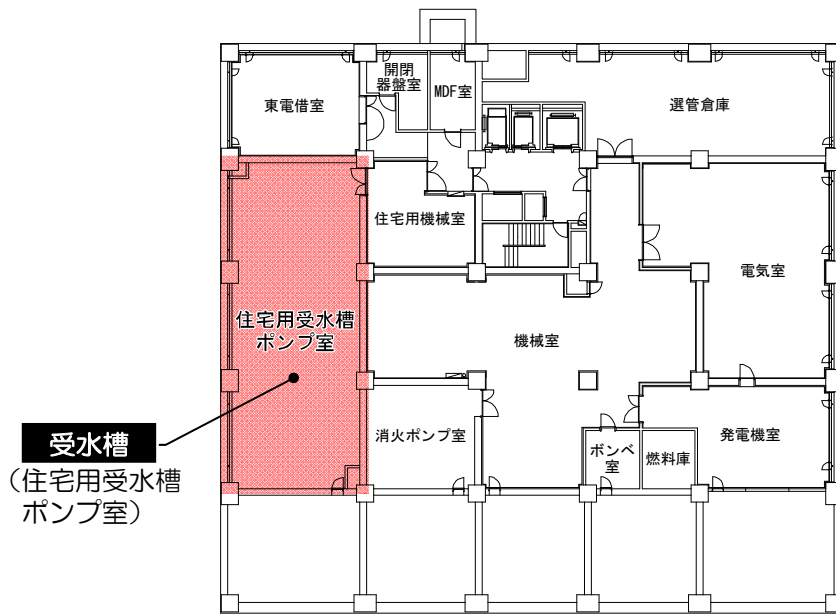
### 災害時の受水槽使用方法

- 1 蛇口（受水槽排水口）を開け、給水タンクに水を入れる。



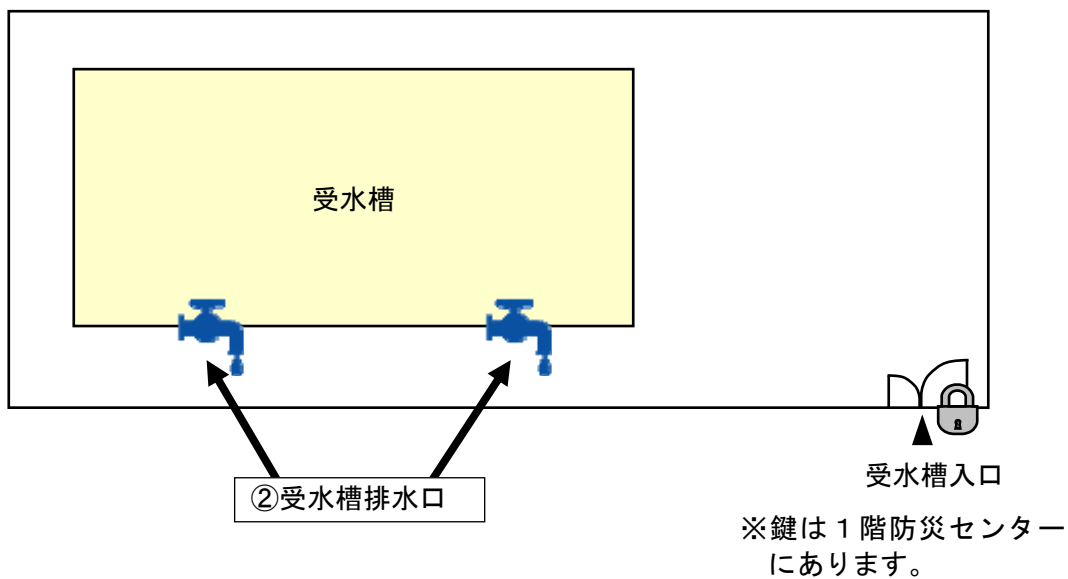
# 受水槽設置場所

地下2階



## 排水バルブ・排水口の位置

地下2階





## 7. 【食事を作るー組立式煮炊きレンジ】

### 【組立式煮炊きレンジ】



### 【組立式煮炊きレンジ】

- |       |   |
|-------|---|
| 正式名称  | 組立式煮炊きレンジ   |
| 使用目的  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区の備蓄乾燥食料（サバイバルフーズ・アルファ米）を元に戻すためのお湯を沸かす</li> <li>2 炊飯袋を使用してお米を炊く</li> </ol>   |
| 特 徴   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 1回に沸かせるお湯の量は50リットル</li> <li>2 1回につき炊飯袋100袋（1食＝1袋）を20分間で炊飯できる<br/>※汁物なら300人分を30分間で調理可能</li> <li>3 燃料（灯油）を満タン（18リットル）にした状態で最大900食分炊飯可能<br/>※灯油1リットルで50食分炊飯可能</li> <li>4 燃料満タンで、3時間～6時間連続で稼働できる（火力により増減有り）</li> </ol> |
| そ の 他 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区と「東京都石油商業組合京橋支部・日本橋支部」との協定により、ガソリンスタンドから灯油の供給可能。</li> <li>2 灯油が確保できないときは、木材などをレンジの下で直接燃やし、煮炊きをする。</li> </ol>  |

### 炊飯時の注意

- 1 レンジを設置する地面には可燃物を置かぬこと。
- 2 使用中及び使用後の移動にあっては取手が加熱されているので直接手を触れぬこと。
- 3 レンジが完全に冷却してから箱に収納すること。

### 【各部の名称】



### 【炊き出し用コンパネ】

※組立式煮炊きレンジの下に敷いて使用する。



## レンジの組立手順

- 1 水平な地面を選定し、レンジ部を箱より取り出す。レンジ部外側の貼マーク（組立順序1. 2. 3）が下になるように置く。



- 2 始めに「組立順序1」の貼マークのレンジ部を置く、次に「組立順序2」の貼マークのレンジ部を持上げ「組立順序1」のレンジ部の右側のレールの間に差込み押下げる。



- 3 最後に「組立順序3」の貼マークの正面レンジ部を持上げ、両側のレンジ部のレールに合わせて差込み、押下げて組立完了。



- 4 組立てたレンジの移動は両側の取手を起して持上げて行う。分解は組立の逆の手順で行う。



## バーナーの組立て方

- 1 赤色缶から油タンク（赤色）・給油管、工具箱から小容器（銀色）を取り出す。



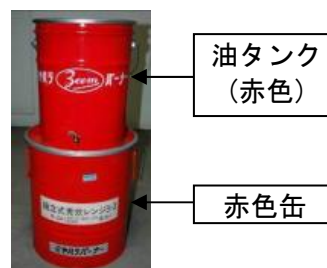
- 2 油タンクの元栓を、90度に横に曲げて閉める。



- 3 油タンクのキャップを開けて灯油を入れる。  
※災害時は備蓄している灯油缶詰を使用する。



- 4 赤色缶の上に油タンクを重ねる。



- 5 油タンクに給油管を、レンチを使って取り付け。  
※レンチは工具箱に入っている。



- 6 油タンクのキャップを緩めて、  
空気が入るようにする。



- 7 油タンクの元栓を、ホースと水平にして開ける。



- 8 給油管の他端を小容器（銀）に  
受け、しばらく灯油を流し、給  
油管中に灯油を満たす。



- 9 油タンクの元栓を、90 度に横  
に曲げて閉める。



- 10 バーナーの油バルブの下部  
に、レンチを使って給油管を  
取り付け。



- 1 1 油タンクの元栓を、ホースと水平にして開ける。



- 1 2 送風機のダンパーを中程まで開く。



- 1 3 バーナーの電気コードを電源に差込み、送風機のスイッチを「ON」にする。  
※災害時は発電機につなげる。



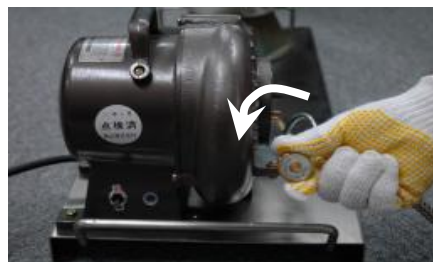
- 1 4 灯油を入れた小容器（銀）に点火棒を入れ、灯油を浸してから火を付ける。



- 1 5 火のついた点火棒を内燃筒内側の底面に突っ込む。



- 1 6 油バルブを左に3～4回転位開くと点火する。



- 1 7 点火後は、煙が出ない程度に送風量と給油量を調節する。



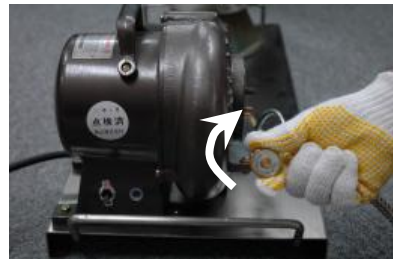
- 1 8 火力の調整が済んだら、バーナー台のストッパーがレンジ本体のレールに落ち込むまで押し込み、遮熱板を取付ける。



## 消火の仕方

---

1 油バルブを右に回して閉める。



2 送風機のスイッチを「OFF」にする。



3 油タンクの元栓を、90度に横に曲げて閉める。





## 8. 【食事を作る一炊飯袋】

### 【炊飯袋】

使用目的 炊飯袋、水、米、組立式煮炊きレンジを使い、米を炊く  
炊飯方法 炊飯袋に「といでいない米（1合弱）」と、米の2割増の水を入れる。  
といだ米の場合は同量の水を使用する。それを、組立式煮炊きレンジで沸かしたお湯の中に入れ、20分間袋ごと煮て炊飯する。

### 炊飯袋の使用方法 〈詳細〉

1 準備するもの  
炊飯袋、米、水

2 作り方

(1) 炊飯袋に「といでいない米1合弱」と「米の2割増の水」を入れる。  
といだ米の場合は同量の水を入れる。  
※1合 → 180 ml

(2) 袋の余った部分を手でしぼり袋内の空気を抜く。袋内に空気が残っていると煮た時に膨張するので注意する。  
(右図参照)

(3) 袋内の空気を抜いたまま折り曲げてしっかりと結ぶ。(右図参照)

(4) 水を煮立てた鍋に袋をそのまま入れ、約20分間袋ごと煮る。  
煮立てる水は飲用に適さない水でも可能。

(5) 煮た後、鍋から取り出し5分程蒸らすと出来上がる。蒸らすときは熱を逃がさないように容器（ダンボール箱など）に入れる。





## 9. 【トイレを作るー組立式簡易トイレ】

### 【組立式簡易トイレ】

正式名称	サニターⅡ
使用方法	和式トイレの便器の上に設置できる特殊加工をしたタイプと普通のタイプの2種類があり（拠点によって、特殊加工タイプのみ）、組立式簡易トイレに取り付けた用便袋に用をたす
特 徴	ゆっくり座れば、200kgの負荷まで耐えられる
そ の 他	便袋は <u>1枚で10人分</u> の用便をまかなえる。

### 普及型家庭用・組立式簡易トイレ（サニターⅡ）



梱外箱包  
(表面)



梱包内容



### 組立て手順

- 1 スカートを折り目に従って曲げ、箱型をつくり、重なる部分の上・下部を固定クリップではさみ込む。
- 2 スカートの対角に、三角コーナーをしっかりと差し込む。



- 3 三角コーナーに便袋の口をかける。(便袋は、防災資器材庫に備蓄している。)



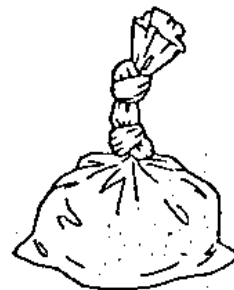
- 4 便袋の向きに合わせて便座を上からかぶせる。



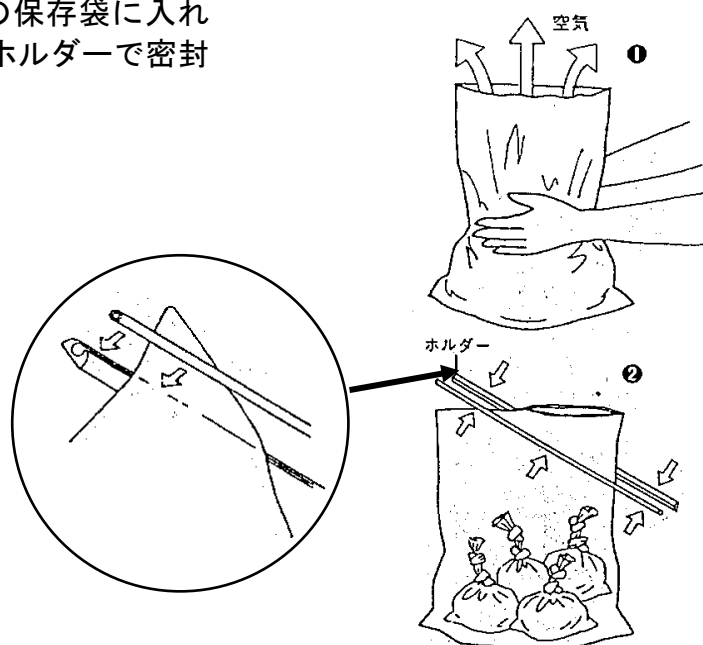
## 10. 【トイレを作る一便袋】

### 使用済便袋の収納

- 1 使用済の便袋をトイレからはずし、便が入っていない部分から空気を追い出すようにしてから2、3回、しっかりしぼる。(右図参照)



- 2 固くしぼった便袋を銀色の保存袋に入れてください。保存袋の口はホルダーで密封する。(右図参照)



#### ●あと始末

災害復旧の過程でトイレが使えるようになったら、水で流しながら、し尿のみをトイレに流す。

残った空の袋類は、まとめて密封（袋の空気を抜き忘れずに）して、一般ゴミとして出す。

便袋には炭酸カルシウムが含まれている。

- し尿は絶対に他のゴミと一緒に放置するような事はしないこと。



## 11. 【トイレを作るーマンホールの開け方】

### 手順

#### 1 トイレ用マンホールの開け方

- ①マンホール開閉工具をマンホールにある差し入れ口に差し入れる。

※マンホール開閉工具は地下1階防災拠点倉庫に保管しています。



- ②マンホール開閉工具のハンドルを回し、マンホール開閉工具を引き上げる。



- ③マンホールの蓋をはずす。



- ④トイレ使用後は、吸上用のマンホールから吸上車により処理を行う。

## 2 吸上用マンホールの開け方

- ①マンホールの差し入れ口右側にある鍵穴を回し、ロックをはずす。



- ②マンホール開閉工具のハンドルを回し、マンホール開閉工具を引き上げる。



- ③マンホールの蓋をはずす。



※ 吸上用マンホールは、道路側に近い、トイレ用より大きいマンホールです。





## 12. 【トイレを作るー災害用マンホールトイレ】

### 【災害用マンホールトイレ】

- 正式名称 災害用マンホールトイレ洋式タイプ (VE100)
- 使用方法 災害用マンホールトイレとして使用できることを事前に指定された下水マンホールの上に災害用マンホールトイレを設置し、下水マンホールの蓋を開け、汚物を直接下水に廃棄する。
- 特 徴 ①折りたたみ式のため容易に組立てができる。  
②軽量であり、設置場所への移動が容易。  
③手摺りがあり、使用しやすい。

### 災害用マンホールトイレ



### 組み立て手順

- 1 背ボードのロゴマークが正面に向くように手すりを回転させる。



- 2 便座シートを両手でしっかりと持ち、便座シートの後部パイプ受けが、本体背側パイプにはまるように、便座シートを斜め下側に差込む。



- 3 少し開いた手すりを元に戻し、本体受け部（左右4ヶ所）に便座シートのパイプを合わせ、シートを上から押し、はめ込む。



- 4 プッシュボタンを押しながらパイプをずらす。  
脚先パイプ4本すべてを3段目の高さにセットする。  
矢印の3段目の穴にプッシュボタンが大きく出るまで確実にセットする。  
脚先パイプ4本すべて同じ高さにセットする。



- 5 本体の後脚をマンホールカバーの後側のソケットにあわせて少し差込み、前脚も同様に前側のソケットに差込む。  
マンホールカバーの「前」シールが貼られている方が前側になる。  
本体の脚を1脚ずつソケットの奥まで、しっかり差込む。  
1脚だけ押し込むと他の脚が入らなくなる。  
4脚を均等に差込む。



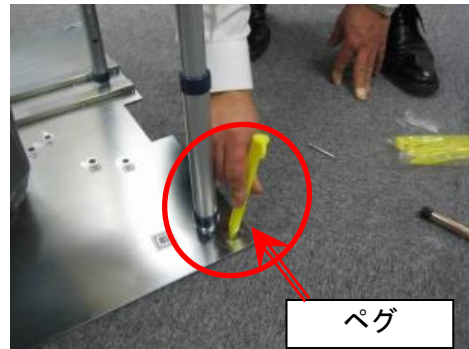
- 6 本体を倒してマンホールカバーの裏面から、付属の六角レンチを使用してボルトを締付ける。4ヶ所（右図「○」の位置）をしっかり締付ける。



- 7 マンホールの内径が30cmのため、③の穴に、上面からボルトを3ヶ所に差込み、しっかり締付ける。  
プレート穴位置に番号シールが貼付けてある。



- 8 ①マンホールの蓋をはずす。  
②トイレをマンホール穴にはめ込む。  
③ペグまたはコンクリート釘をマンホールプレートに4隅、4ヶ所に打ち込み本体を固定する。



- 9 ①ペーパーホルダーを差込み本体受け部に引っかける。  
②ホルダーを広げてペーパーを取り付ける。  
③ビニルスリーブをマンホールの穴の中に垂らす。



### 13. 【トイレを作るーパーソナルテント】

#### 【パーソナルテント】

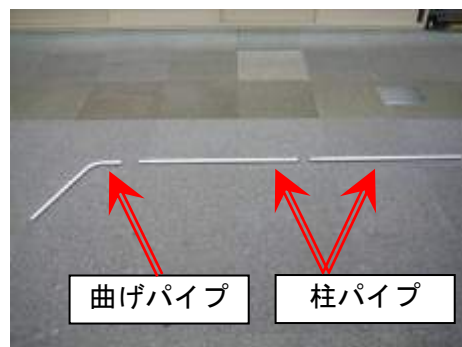
- 正式名称 パーソナルテント (PTAS)  
使用方法 災害用マンホールトイレ用として使用。  
特 徴 ①「使用中」の表示窓や小物入れ、換気用メッシュ窓が付いている。  
②サイズは、幅1m、奥行き1m、高さ1.88mである。

#### パーソナルテント



#### 組立て手順

- 1 柱パイプ8本を2本ずつ接続する。  
次に接続した柱パイプを取付け、支柱を計4本準備する。



- 2 1で組み立てた支柱パイプをセンターコネクタに接続する。



- 3 センタージッパーを開き、テントを上からかぶせる。テント下部4隅の金属棒を柱パイプ先端部の中に差し込む。



- 4 床パイプ4本をテントの内側から柱パイプに取り付ける。

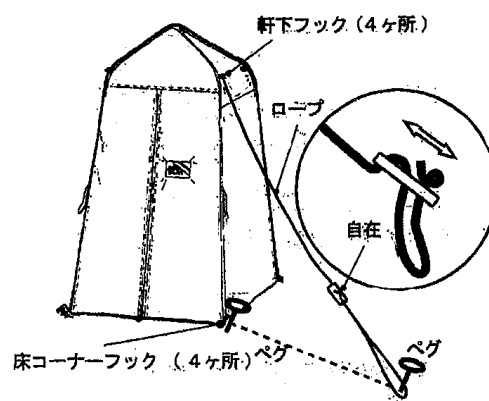


## テントの固定手順

入口の床パイプを取付けないで使用する場合など、必要に応じて、床コーナーフック、軒先フックを利用してペグ、ロープ等でテントを地面や建物に固定する。

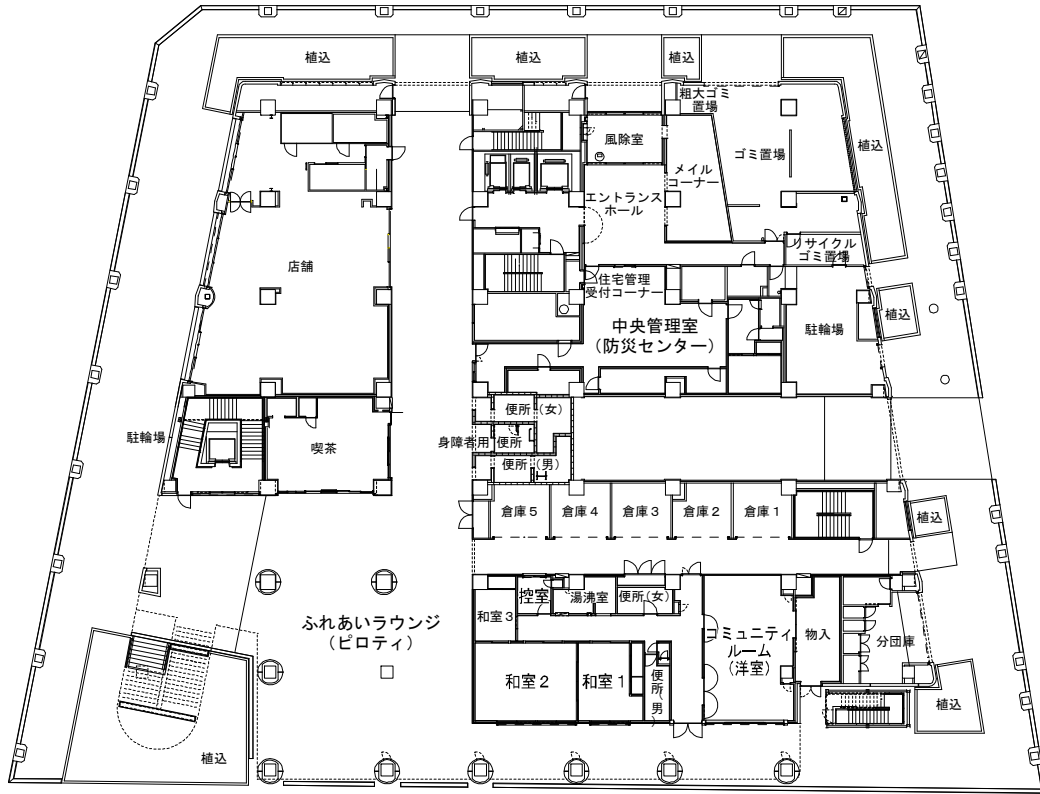
- 1 床コーナーフックを使用する場合  
付属のペグを床コーナーフックに通して地面に直接打ち込んで、テントの4隅をしっかり固定する。

- 2 軒下フックを使用する場合  
付属のロープの端を軒下フック（4ヶ所）に結び、自在側に輪を作り、ペグに引っかける。4本のロープをたるまないように、自在で張りを調整する。



# 災害用マンホールトイレ設置場所

1階



○  
○  
○  
○  
○

**災害用  
マンホール  
トイレ**



災害用マンホールトイレ  
(京橋公園内)



## 14. 【生活用水を確保するー防災用井戸】

### 【防災用井戸】

正式名称	防災用井戸
使用目的	飲料水にはできないが、トイレ等に活用できる
特 徴	1 手動式のため、電源や燃料が不要 2 取扱いが簡単

※ポンプハンドルは地下1階防災拠点倉庫に保管されている。

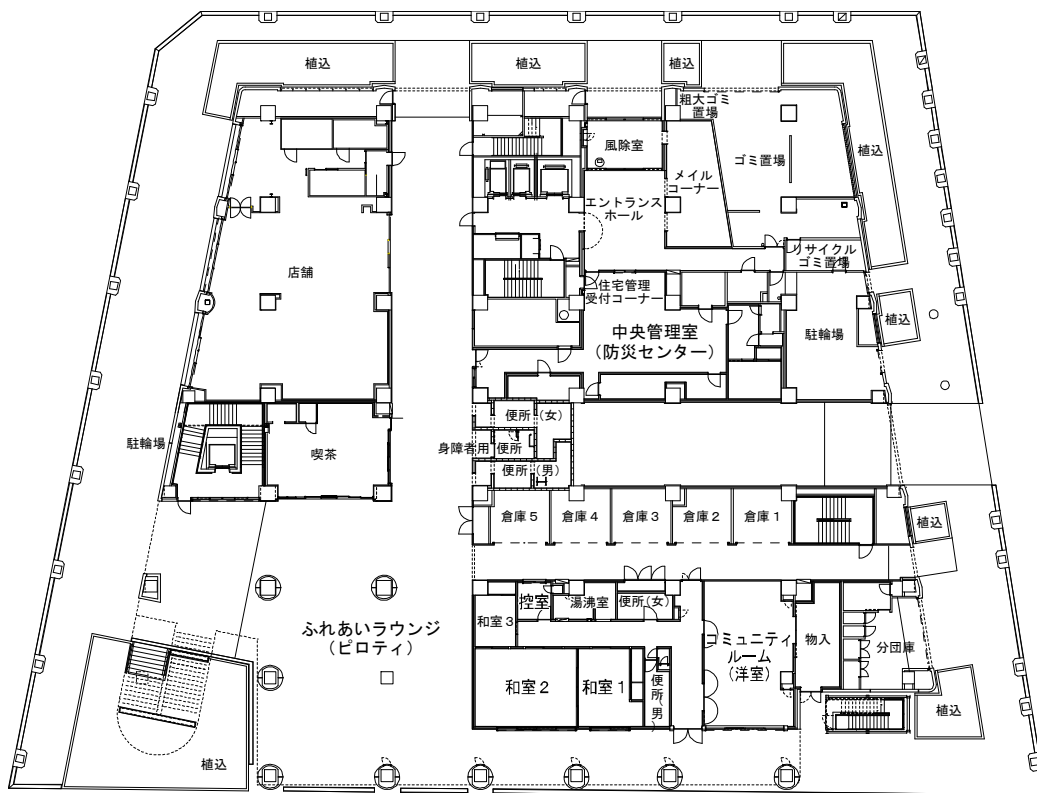
### 防災用井戸取扱説明書

- 1 防災用井戸は、1階コミュニティルーム(洋室)前の屋外にある。ポンプハンドルを入れ、上下に動かすと放水口より水が出る。



防災用井戸  
(1階コミュニティルーム[洋室]前)

1 階



防災用井戸

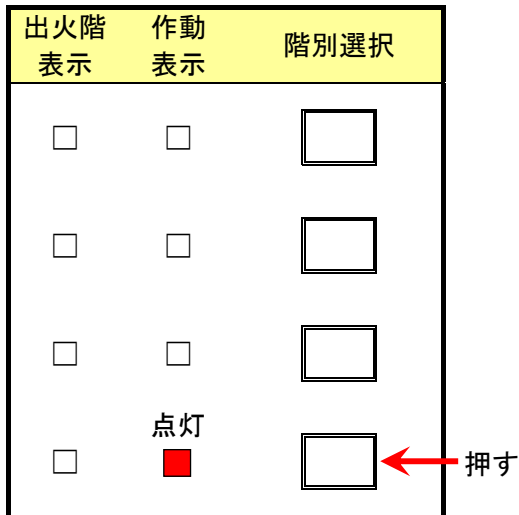


## 15. 【情報を伝達するー施設内放送設備】

### 施設内放送設備の使い方

#### 放送する場所を指定する場合

- 1 放送したい場所の「階別選択スイッチ」を押す。

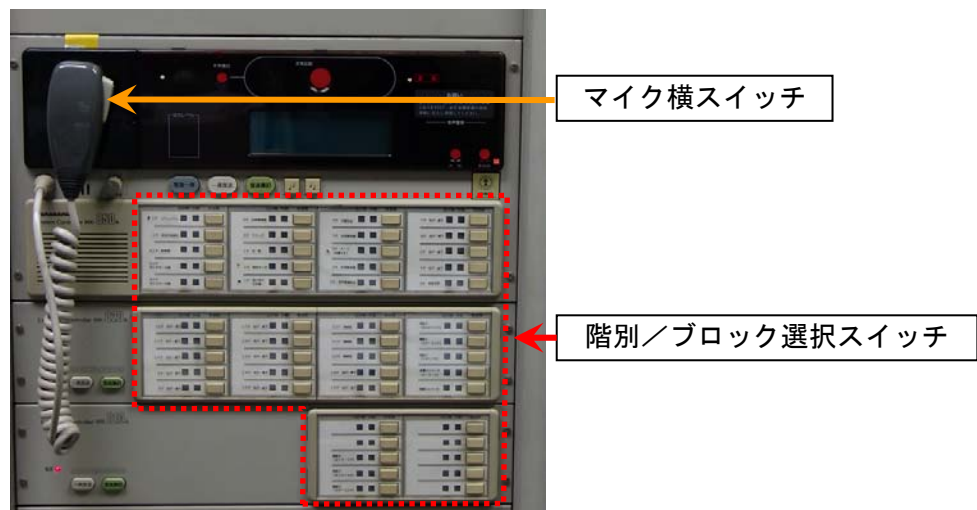


#### 一斉放送する場合

- 1 一斉放送スイッチを押す。

- 2 マイクを持ち上げ、横のスイッチを押しながら連絡事項を放送する。

- 3 放送が終了したら、放送復旧スイッチを押して全ての表示灯を消す。





## 16. 【情報を伝達するー地域防災無線】

### 【地域防災無線】

#### ●地域防災無線の概要

地震発生直後、固定電話及び携帯電話は混雑又は断線により、つながらない又はつながりにくい状態になると想定されている。

そこで、区との通信手段を確保し、情報収集をするため、各防災拠点、消防署、警察署、医師会、医療機関、ライフライン関係事業者に地域防災無線を設置している。

無線機は、停電時も使用可能。防災拠点に設置してあるものは、おおむね40時間バッテリーにより使用することができる（携帯用のバッテリーはおおむね20時間使用することができる）。

#### ●中央区の地域防災無線の特徴

従来の個別通信・グループ通信・一斉通信に加え、庁舎内の電話交換機に接続された内線電話との通信やメール機能の使用が可能となった。

#### ●通話時の注意点

※通信前には、電源を確認する。アンテナマークで電波状況を確認する。通信モードを確認する。

※通常の通信（個別通信）は一般電話と同じように通話が可能。6分間で自動的に切れるので、注意すること。

## 16. 【情報を伝達するー地域防災無線】

### 地域防災無線の使い方

#### 通話をする

- 1 受話器を取る
- 2 相手番号を入力し  
**【個別に呼出す場合】**：テンキーで**数字3桁の相手番号**を入力  
 [区災害対策本部の番号] **1 0 0** を押す。  
**【グループで呼出す場合】**：「#」+**数字2桁のグループ番号**を入力  
**【内線番号を呼出す場合】**：「\*」+**内線電話番号**を入力
- 3 **採用** ボタンを押す
- 4 通話をする  
 ※ 通常時は6分間の連続通話で自動的に切れます
- 5 受話器を戻して通話を終了する

#### 《注意点》

個別通信の場合： 複信通信（一般電話と同じように話すことができる）  
 グループ通信の場合： 話す際はプレススイッチを押しながら話す

#### 通話を受ける

- 1 通信種別毎の呼出音が鳴る  
**【個別に呼出された場合】**： ♪ **ズルズルズル...**  
**【グループで呼出された場合】**： ♪ **ピピッ...**  
**【交換機経由（内線電話）で呼出された場合】**： ♪ **ズルズルズル...**
- 2 **採用** ボタンを押して通話を始める
- 3 通話をする
- 4 **電源** ボタンを押して通話を終了する

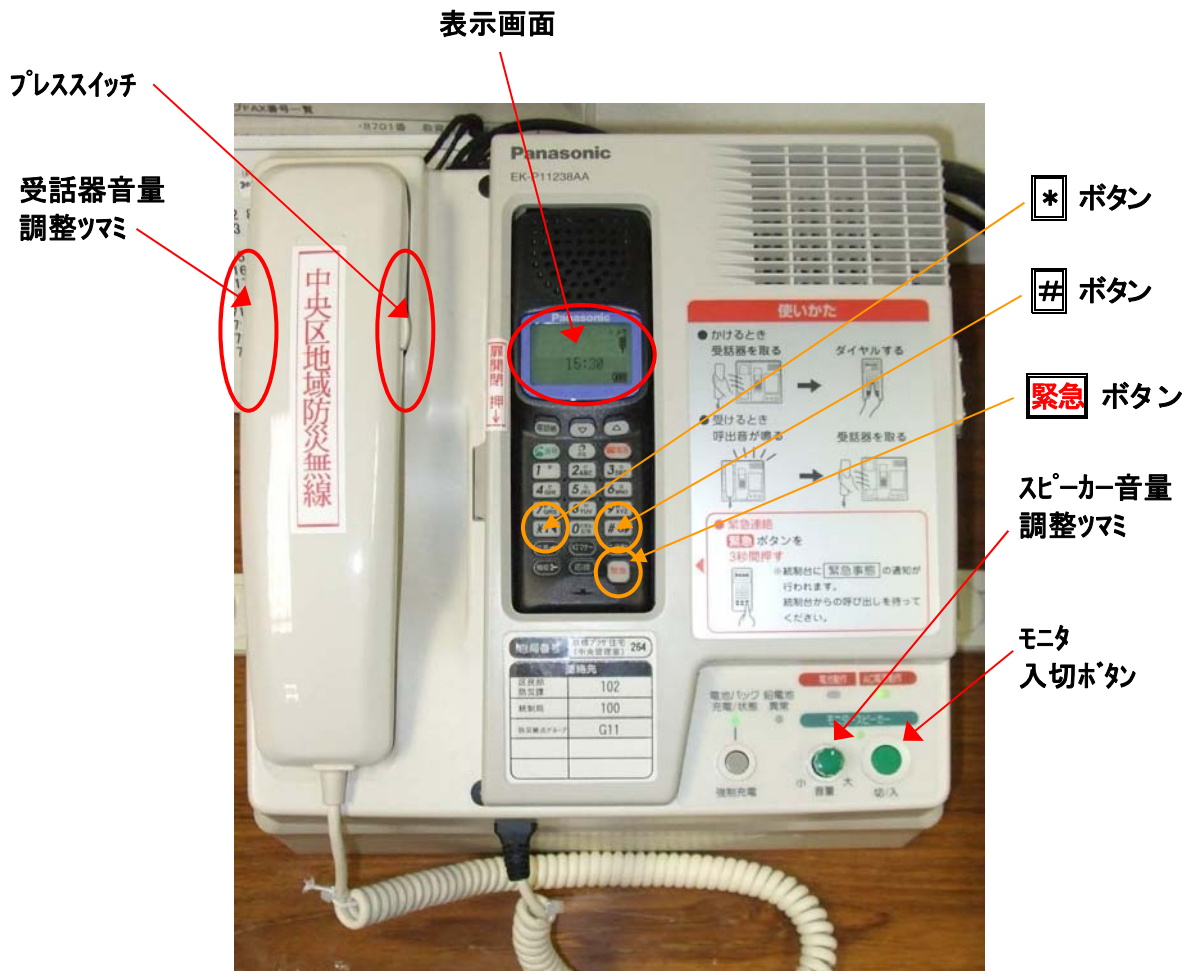


※一斉通報を受けた場合

- ① 呼出音が鳴り、統制台より一斉通報が入る「こちらは統制台です・・・」
- ② 表示画面に【内容確認OK \* - Y e s / # - N o】と表示される
- ③ 通話内容が確認できた場合 → **[\*]** 通話内容が確認できない場合 → **[#]** をそれぞれ押す

※緊急通報

- ① **[緊急]** ボタンを2秒以上押す
- ② 緊急連絡が統制台に受け付けられると表示画面に【受付完了】と表示される
- ③ 統制台からの統制通信連絡を待つ







## 17. 【情報を伝達する－FAX】

### FAXの使い方

#### 送信の仕方

##### 1 セット

- ① 「原稿ふた」を開ける。
- ② 「原稿ガイド」を送信する原稿の幅に合わせる。
- ③ 「原稿ふた」に送信する原稿を**表向き**にセットする。  
※用紙は5枚まで差入れられる。

##### 2 選択

- ④ **ファクス** ボタンを押して、FAX機能を選択する。

##### 3 入力・送信

- ⑤ 送信先のFAX番号を入力する。  
【区災对本部の番号】：**8 0 9 9 \* \* 9 7 0 1**
- ⑥ 再度、**ファクス** ボタンを押して送信する。  
※送信を止めたいときや、うまく送信できなかったときは、**ストップ** ボタンを押す。

##### 4 終了

- ⑦ 送信終了後、「原稿排出口」から排出された原稿を回収する。

#### 受信の仕方

##### 1 セット

- ① 「記録紙トレイ」を開ける。
- ② 「記録紙トレイ」の奥にある「記録紙スタンド」を立てる。
- ③ 「記録紙挿入口」(半透明プラスチック板の裏側)にA4用紙を**裏向き**にセットする。  
※用紙は15枚まで差し入れられる。

##### 2 受信

- ※記録紙がないときにFAXを受信した場合は、「表示窓」にFAXが届いている旨の表示が出るので、「記録紙トレイ」に記録紙をセットした後、**決定** ボタンを押して、受信する。

##### 3 終了

- ④ 受信終了後、「記録紙挿入口」(半透明なプラスチック板の手前側)から排出された記録紙を回収する。
- ⑤ 「記録紙スタンド」(左側から)及び「記録紙トレイ」をたたむ。

#### 送信の仕方



#### 受信の仕方

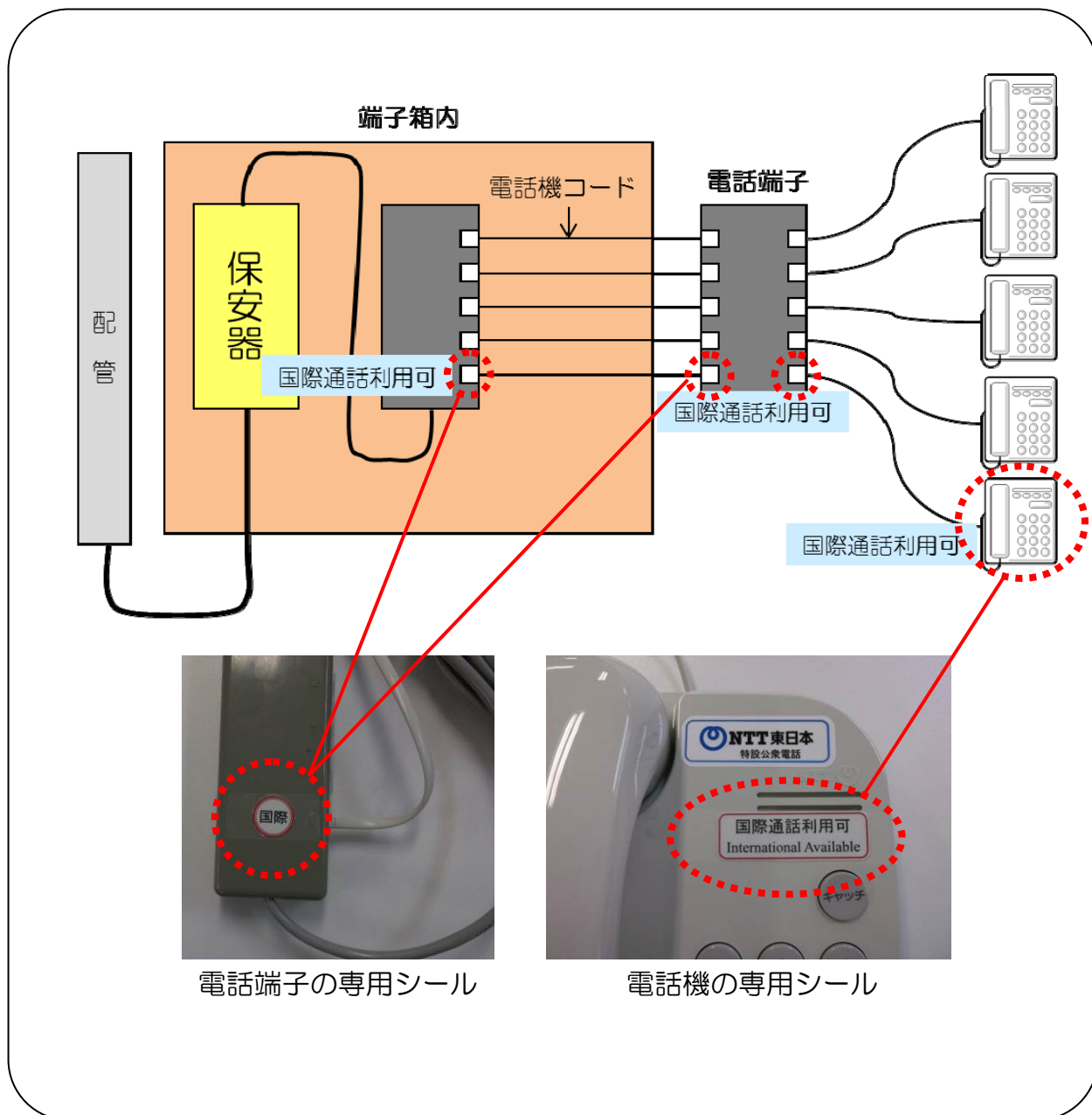




## 18. 【情報を伝達するー特設公衆電話（国際通話）】

### 特設公衆電話（国際通話）の使い方

特設公衆電話の1回線で、国際電話の利用が可能。下記のように、専用シールが貼られている電話端子同士、電話端子と電話機を接続する。



電話端子の専用シール

電話機の専用シール

